

ふりがな 氏名	いしかわ あやか 石川 郁香	都道府県	千葉県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事(柏ユネスコ協会青年理事) ・公立小学校教諭 			
私のESD活動	ユネスコ精神に基づき、平和な社会を構築するための学びや活動の場を創ること			
ESD活動を表すキーワード	平和	生涯教育	主体性	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

小学5年生から柏ユネスコ協会に所属し、18年間ユネスコの民間運動に参加してきた。高校生の時にインドの農村地帯へ行き、教育の重要性を感じた。平和の実現には、学校に通うことのできない子どもや文字の読み書きができない大人を減らすことだけでなく、先進国及び途上国で高い教育を受けた人が社会をどのように学び、社会問題をどのように捉え、どのように向き合っていくかが大切だと考えるようになった。大学1年生の時、ESDの理念を初めて学び、私がそれまで取り組んできたユネスコ活動そのものがESDであると感じた。その後、自主的な勉強会や小中学生への出前授業、募金活動、子どもたちとのキャンプ、スタディツアーなどを行う際は、常にESDの視点を念頭に置き、取り組んできた。

現在、主に取り組んでいるESD活動は、今年の8月2～5日に開催した「第47回ユネスコ子どもキャンプ」の運営である。「平和のピース～感じて、つなげて、～」というテーマを設定し、生き物や自然環境、生活環境や人などがパズルのたくさんのピースのように繋がっていることを感じ、その大切さを学んで欲しいという思いと、平和を願う心を大切にし平和な社会の構築に貢献できる人に育ててほしいという思いを込めて企画・運営を進めて実施した。

民間ユネスコ運動におけるESD活動がさらに発展し、民間ユネスコ運動の発展がESD活動の大きな力になることで、平和な社会の実現に貢献できるよう取り組んでいきたい。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

民間ユネスコ運動におけるESD活動について考えを深め、具体的な活動に取り組み広げていきたい。ESDの風をユネスコ界にどのように吹かせることができるのか、ユネスコがESDの発展に果たすべき役割は何かを考え展開していきたい。公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の最年少の理事として、若者のESD実践者を増やしていきたい。

また、小学校の教員として学校現場での取り組みについて考え、実践できるようにしていきたい。